

加茂川丸

大阪商船誕生

明治政府は明治2年、平民の船舶保有を解禁、翌3年には商船規則を發布して西洋型船舶の取得を奨励し、これを受けて各藩や菱屋、播磨屋、鴻池や三菱などが商船を取得、各地と大阪・東京を結ぶ海運を開始しました。

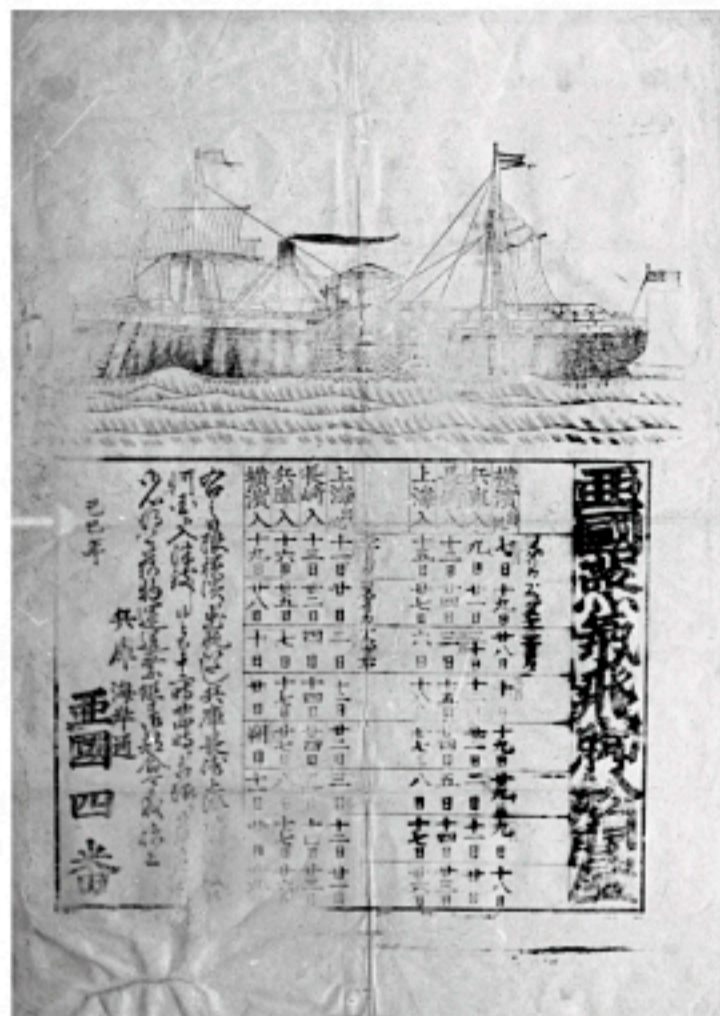
明治10年の西南戦争により阪神＝九州の輸送量が飛躍的に増加しましたが、業界最大手の三菱は所有船舶の大半を御用船（徴用）にとられた為に船腹が不足、その気に乗じて70社以上の商船会社が瀬戸内航路に誕生しました。

戦争終結後は船腹が過剰となり、熾烈な競争の結果、事故も頻発するようになり、明治14年、大阪府ほか13県の指導により航路同盟が締結、取締会社として同盟汽船取扱会社が設立されました。

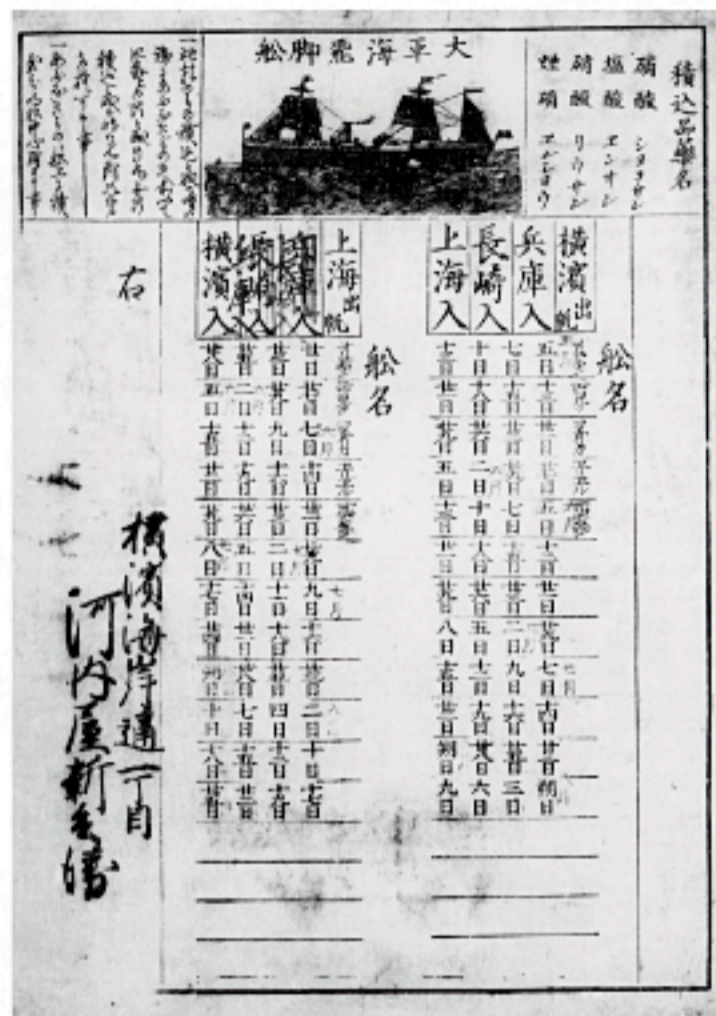
明治15年、大阪富豪である住友家の総理代人・広瀬宰平を長とする大連合の結成し、ついに「有限責任大阪商船会社」が発足しました。

明治17年5月1日、伊万里行『豊浦丸』、細島行『佐伯丸』、広島行『太勢丸』、尾道行『盛行丸』、坂越行『兵庫丸』の5隻が大阪港を出港、ここに大阪商船が開業しました。

我が国最初の鋼船である『加茂川丸』や当時では珍しい3連レシプロ機関を搭載した『宇治川丸』など優良船舶を建造、着実に地歩を固めていきました。



明治2年1月出帆広告



明治2年米国出帆表

明治23年7月、初の海外航路である大阪釜山線を開設、続いて26年3月大阪仁川線、6月朝鮮沿岸線を開設し、瀬戸内海のローカル汽船会社から国際海運会社への最初のステップが踏み出されました。

明治27年の日清戦争で大阪商船も32隻1万2千総トンと保有船舶の過半数が徴用され『木曾川丸』は豊島沖海戦に追従して、その勝報を逸早く伝えた事で知られています。

日露戦争、建国以来希有の国難であるこの戦争で徴用された船舶は266隻67万トンでこれに対して日本の開戦時の保有商船は1570隻66万総トン、まさに総ざらえというべき総力戦でした。

この戦争で大阪商船は『平壤丸』以下73隻7万9千総トンを提供、そのうち『愛国丸』は第3回旅順港閉塞作戦に使用され沈没、『太田川丸』、『舞子丸』も触雷するなどの損害を被りました。



明治41年頃の山下埠頭

明治40年に入ると近海航路でも『櫻丸』、『亜米利加丸』など優秀船舶を次々と投入、長崎大連線、大阪清津線、浦塩直行線、北海道樺太線などを開設、また、朝鮮郵船や日清汽船といった現地企業の設立にも積極的に参与しました。

第一次世界大戦開戦時は世界六位の海運国だったのが停戦時には3位まで浮上していました。

郵商協約

満州事変に伴う支那方面での排日運動激化や英国の金本位制の廃止などでますます深刻な状態となっていき、大阪商船も生き残りを図るために日本郵船との協定、いわゆる「郵商協約」を行ないます。

これは、過度の競争を排除してきた従来の協定を強化したもので、日本郵船が欧州・北米航路を独占するかわりに大阪商船が南米・近海航路を独占するという「世界分割計画」というべきもので、以後、日本海運図はこの協定により塗り分けられる事になります。

優秀船建造

昭和7年、日本政府は老朽船を整理し、代わりに優秀な新造船の建造補助を行なう船舶改善助成施設を実施、老朽船94隻40万総トンを解体し、『浅間丸』や『氷川丸』（ともに日本郵船）など31隻20万総トンを建造、さらに昭和10年、11年にも第2回、第3回助成施設が実施され、それぞれ8隻5万1千総トン、9隻5万1千総トンの新造が行われました。

大阪商船はこの施設によりOSK船隊のフラグシップというべき『ぶらじる丸』、『あるぜんちな丸』、アフリカ航路向けの『報国丸』、『愛国丸』、『興国丸』の建造を開始しました。



ぶらじる丸



あるぜんちな丸



皇太子、横浜港の「あるぜんちな丸」訪問

客船内部一等食堂





ラウンジルーム

料理メニュー



KASHIYAMA MIYA

書食御献立

- 1 湯スープ ナリンスープ
 - 2 餅 揚げ餅 メシクワアサギ
 - 3 餅肉のワラワ ストレンジボンズ
 - 4 ナンゴトス
 - 5 マヨネーズ ドリアン
 - 6 卵スープ
- 馬鈴薯 煮込み、 フレンチフライ、
(冷 菓 有 限)
- 7 牛乳ライス ケーキ
 - 8 鶏肉のワラワ ストレンジボンズ
 - 9 餅肉ハム
 - 10 サンドウィッチ アサギ
 - 11 餅肉のワラワ マヨネーズドリアン、 トマト
 - 12 菓 子 トマトアサギ
 - 14 餅 肉 ナンゴトス アサギ、 ナンゴトス
 - 15 餅 肉 ナンゴトス アサギ
 - 16 菓 子 餅肉、 コーヒー、 ナンゴトス
 - 17 餅 肉、 餅肉、 餅肉

内臺灣船 高砂丸
昭和十二年 七月 一日 本報

BREAKFAST

Boiled Onions, Apples,
Plain Lettuce, Garden Radish, Spring Onions.

Wheat Cereal

Corn Flakes, Grape Nuts, Polled Rice

Fish Cakes, Anchovy Sauce

Chicken Giblets a la Creole

Meat Curry

Potatoes — Boiled & Lyonnaise

TO ORDER

(From the Gull 10 minutes)

Roast of Beef Steak with Radish

Grilled Ham Breakfast Bacon

Eggs — Fried, Boiled, Poached, Turned & Scrambled

Omelet — Plain, Sausage & Tomato

Honey Hot Cakes with Honey or Maple Syrup

Sultana Cakes, Hot Rolls or Toast

— Strawberry, Orange Marmalade

TEA — Lipton Green, Coffee, Cocoa, Fresh Milk

"MONTEVIDEO MARU"
Friday, June 15th, 1934

朝食御献立

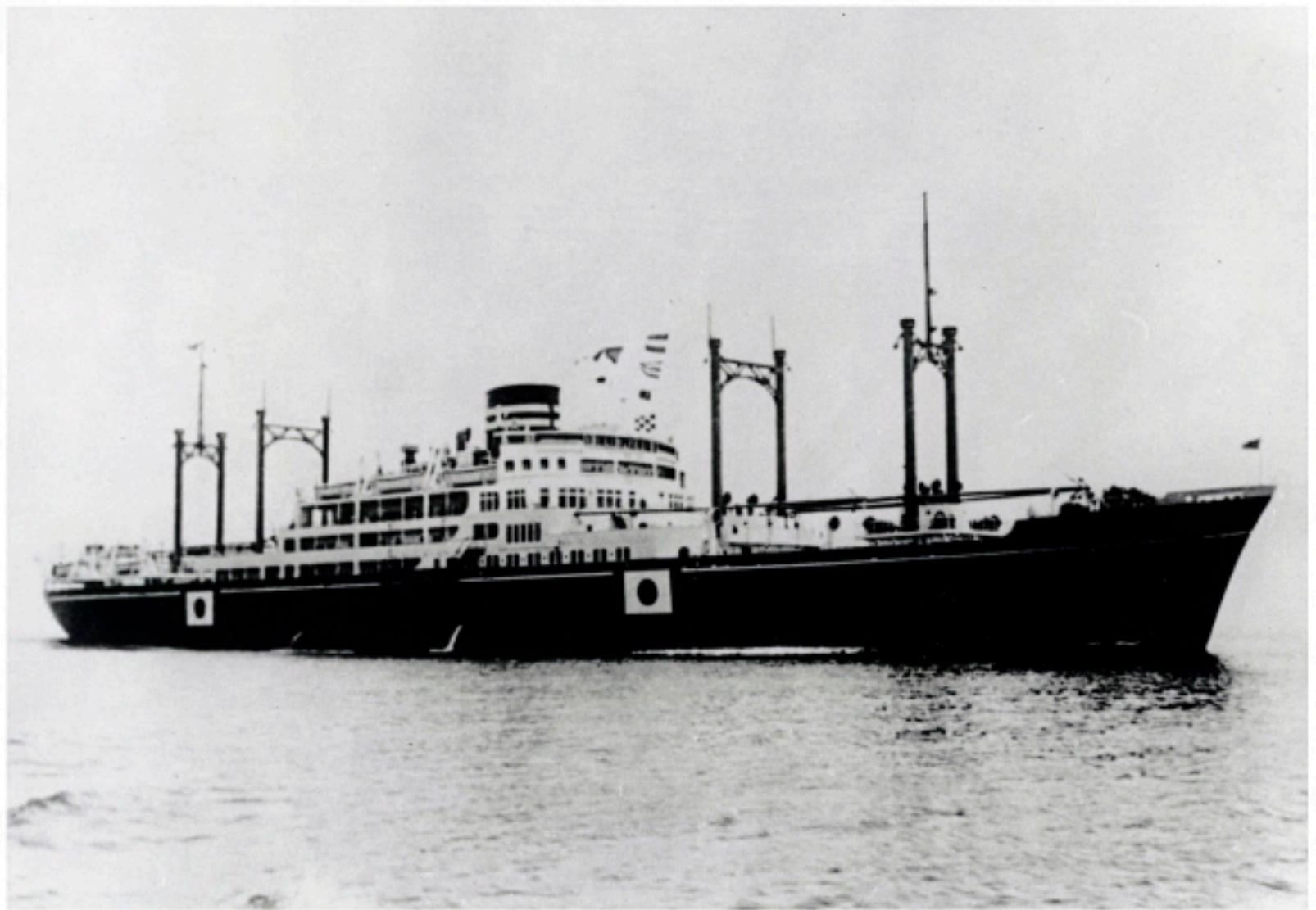
- 1 菓 實 蒸餅、 餅
- 2 生 煎 餅 ナンゴトス、 トマト、 本報
- 3 ナンゴトス、 コーンフレーク、
ドリアン、 マヨネーズ
- 4 ナンゴトス トマト
- 5 ナンゴトス
- 6 ナンゴトス

馬鈴薯 煮込み、 フレンチフライ、
本ノ原、 餅肉、 餅肉、 餅肉

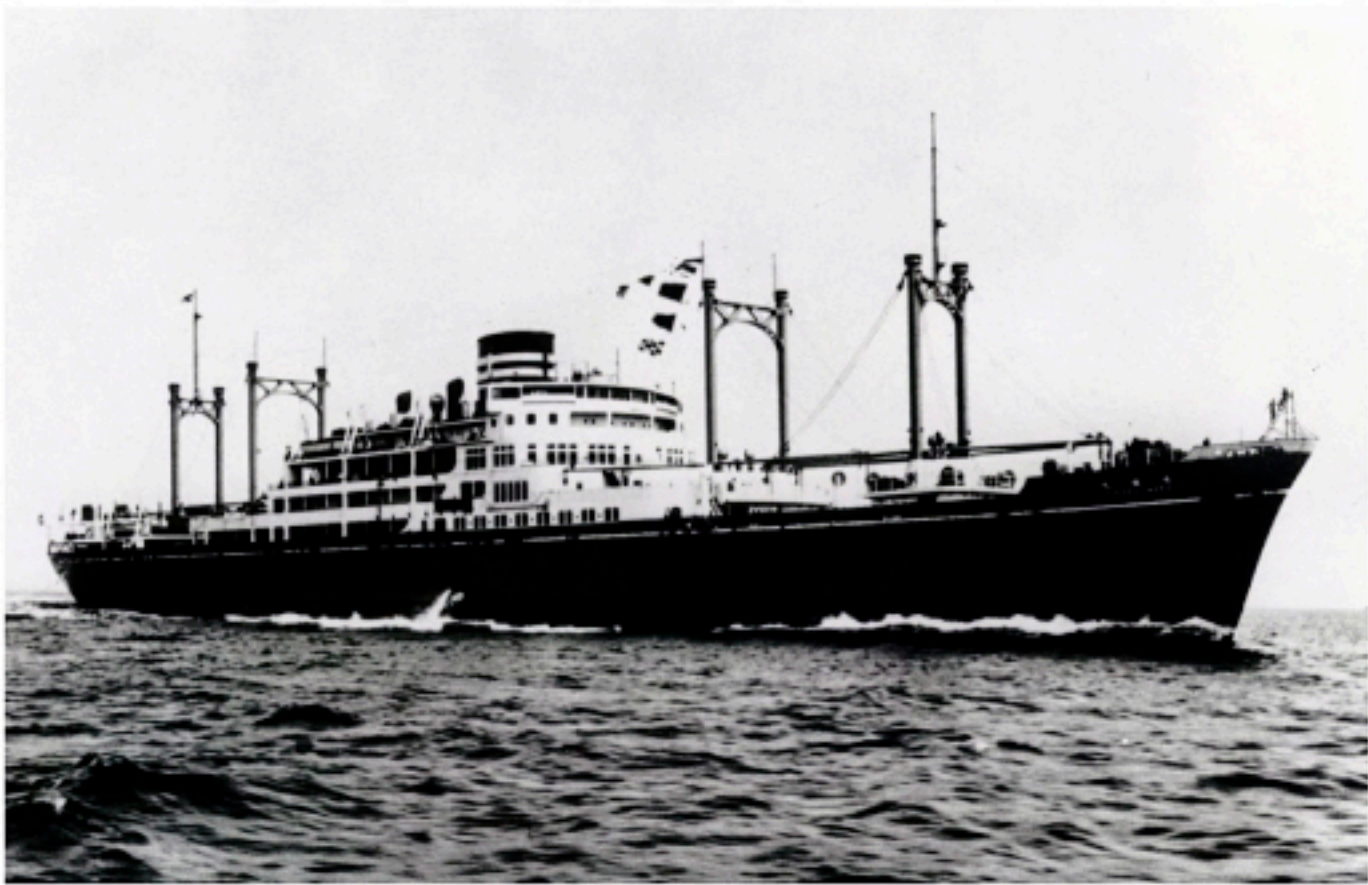
餅肉のワラワ、 餅肉のワラワ、 餅肉のワラワ

- 7 ナンゴトス、 ナンゴトス、 トマト
- 8 ナンゴトス、 ナンゴトス
- 9 ナンゴトス、 ナンゴトス、 ナンゴトス、
ナンゴトス、 ナンゴトス、 ナンゴトス
- 10 ナンゴトス、 ナンゴトス、 ナンゴトス
- 11 ナンゴトス、 ナンゴトス、 ナンゴトス
- 12 ナンゴトス、 トマト、 ナンゴトス
- 14 餅肉、 ナンゴトス、 ナンゴトス、 ナンゴトス
- 15 コーヒー、 餅肉、 餅肉、 餅肉

内臺灣船 高砂丸
昭和十二年 七月 一日 本報



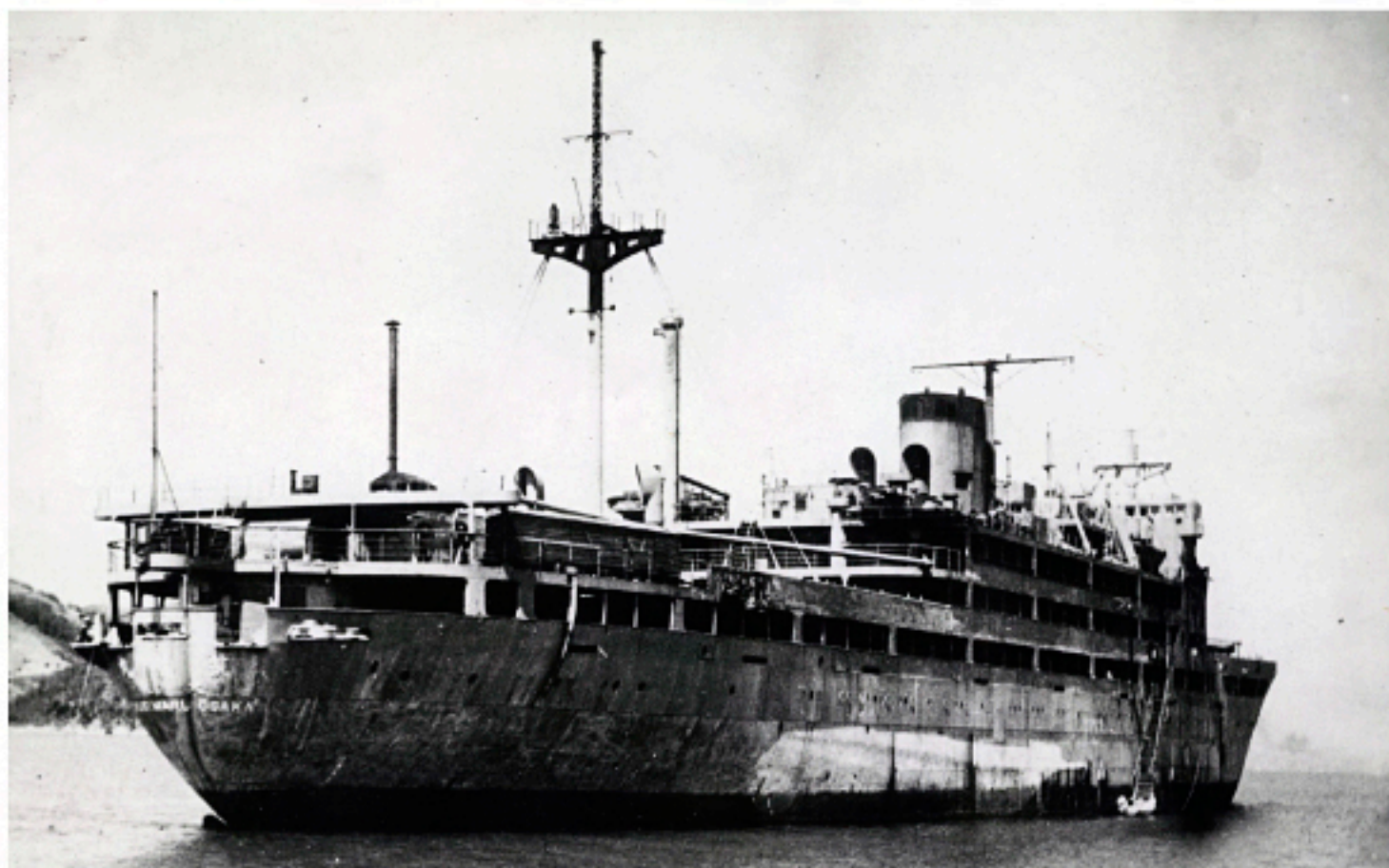
報国丸



愛国丸（客船時代）



愛国丸（戦時迷彩を施した特設巡洋艦に改装）



筑紫丸

太平洋戦争

開戦5ヶ月目の昭和17年4月、軍徴用船を除く1000トン以上の鋼製の全船舶は政府に徴用され船舶運営会の管理に置かれる事となりました。

大阪商船は運航実務者として引き続き船舶の運航実務を行なうと共に、第二班の班長会社として中小汽船会社の指導を行ない、絶望的な海上輸送作戦に従事しました。

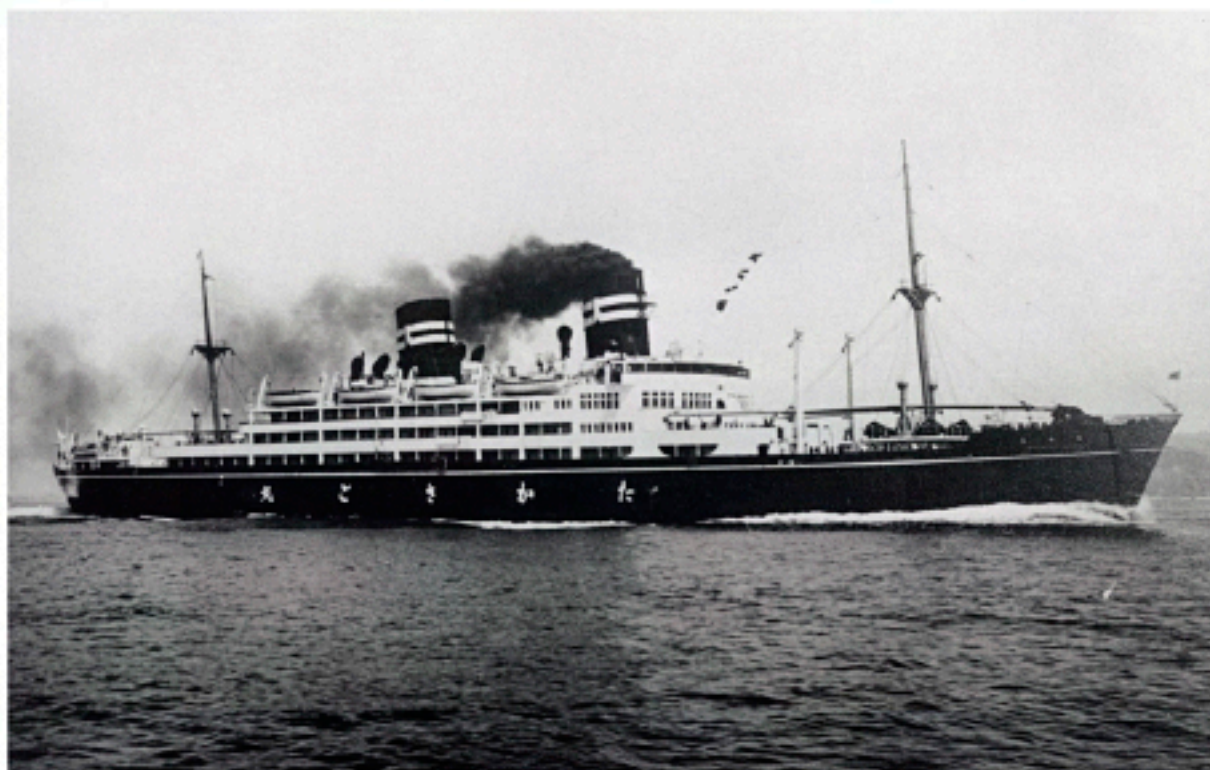
大阪商船の昭和17年1月の時点の保有船舶は171隻59万総トン、大戦中の増加は新造82隻34万6000総トン、海運合理化により国際汽船や右近商事との合併で77隻23万総トン、外地で建造した12隻1800総トンでしたが、終戦時には開戦当初の数字から45隻11万4000トンに減少しました。しかも、そのほぼ全てが戦時標準船という完全な壊滅状態となっていました。

筑紫丸は神戸～大連線用の貨客船として計画されましたが戦時のため、海軍の特設潜水母艦として徴用され戦争中に竣工しました。

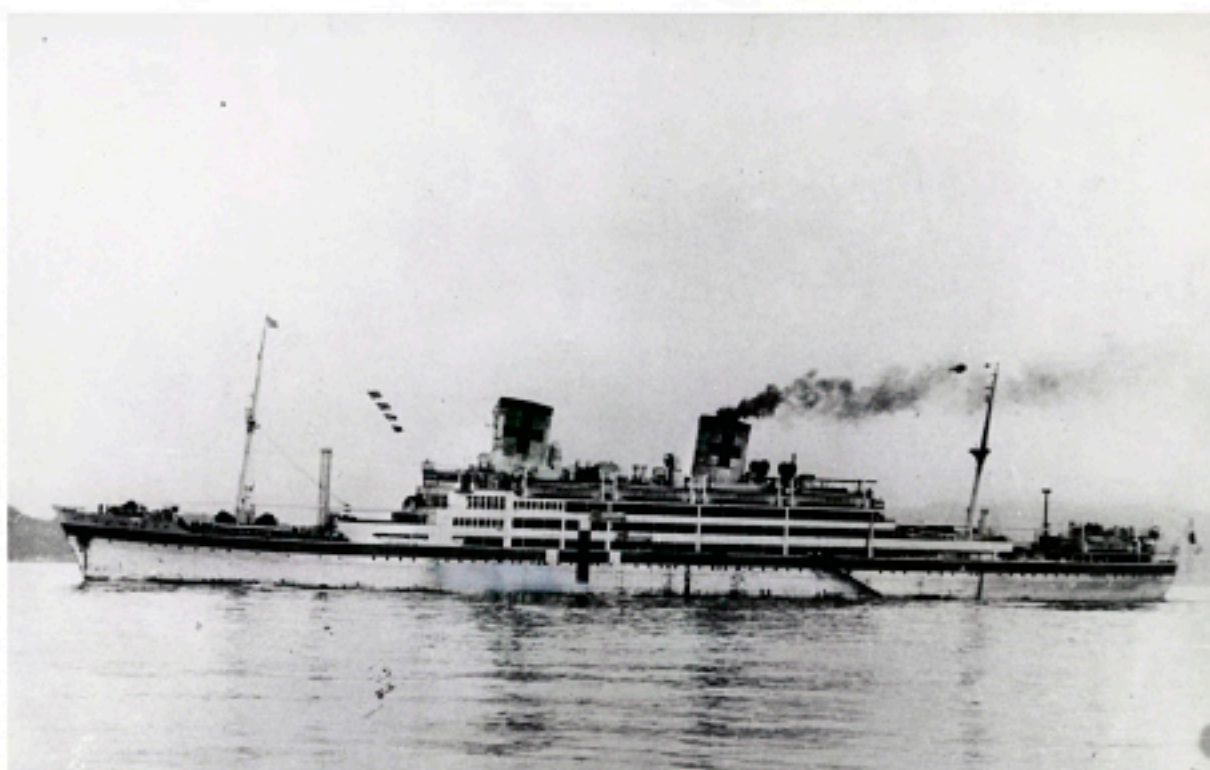
日本海軍では特設潜水母艦に計7隻の商船を徴用しましたが、いずれも他の船舶同様に多くが喪失しました。

特設潜水母艦に籍を置いていた7隻のうち6隻が戦没、この筑紫丸1隻のみが終戦を迎えました。

戦後は復員兵士輸送に従事したのち1952年に海外売船されました。



たかさご丸（客船時代）



たかさご丸（病院船に改装）

戦前の神戸～基隆（キールン：台湾北部）で最大、最高速を誇った貨客船。戦時中は海軍病院船の任務に就き、戦没を免れて戦後、シベリヤなどからの復員兵士、引揚者輸送に活躍しました。（昭和31年解体）画像下は、病院船に改装されたたかさご丸。



横浜ベイブリッジと「ふじ丸」



「にっぽん丸」(後方)と「新さくら丸」横浜同時寄港

そして現在へ

太平洋戦争では他の商船会社同様、商船のほぼすべてを失いゼロからの出発となりました。

海運再編成では三井船舶との合併案が浮上、財閥系大企業との合併が実行され、大阪商船三井船舶（現在の商船三井）となりました。

この合併で大阪商船三井の外航船は197隻231万総トンとなり、日本最大の商船会社となりました。

戦後も外航貨客船の建造を続け、近年ではクルーズブームの礎を作りました「ふじ丸」、そして『にっぽん丸』を建造しました。

戦前からの伝統の客船サービスは、現在も受け継がれております。